



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト

# 滋賀県域メディア連携協議会の 今後の進め方(案)について

令和5年3月22日

国土交通省 近畿地方整備局  
琵琶湖河川事務所

# メディア連携協議会における課題

○これまでに開催された滋賀県域メディア連携協議会や他近畿地方のメディア連携協議会での議論内容および住民へのアンケート結果から、各重点項目における課題を整理すると以下のとおりである。

重点項目	課題	会議名※
1) 河川カメラの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 災害とリンクしたSNSの活用の充実。</li> <li>② 国、県、市の情報提供を利用している人が少ない。</li> <li>③ 避難時のきっかけとして河川カメラの映像など河川情報を利用する人は少ない。</li> </ul>	近畿1 アンケート アンケート
2) 危険性のわかりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行政側がつくるリスク情報など色々あるが、住民にうまく説明する点が欠けている。</li> <li>② 放送前の洪水予測の情報は放送時点では過去情報となっている。予測水位と実際の水位とに差がある場合、予測情報を使用してよいか悩む。</li> <li>③ 専門家に解説(電話中継の臨機な対応含む)してもらう方が遅延なく切迫感のある情報を発信できる。</li> <li>④ メディア関係者の取材だけでは十分な情報が集められないため、河川管理者に具体的に伝えてもらうことが必要である。</li> <li>⑤ 共同会見の内容やタイミングを考える必要がある。新聞では発行時間の関係もあり、共同会見のタイミングが問題となることがある。</li> <li>⑥ 国、県、市が配信している情報の信頼性が高いことを知らない。</li> </ul>	滋賀1 近畿3  近畿2 近畿2  近畿4 近畿1意 アンケート
3) 地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 情報は伝えたから住民は逃げてくれるというのは楽観的過ぎる。皆でこの部分は知恵を出していく必要がある。</li> <li>② いくら正確な情報を伝えても、その後に「どう行動すべきか」を伝えないと人は動かない。</li> <li>③ 支援がないと避難できない高齢者がおり、マイ・タイムラインでは解決できない。</li> <li>④ 避難インフルエンサーの養成等に関する情報が欲しい。</li> <li>⑤ 防災・減災活動を取り組んだことがない人が約2/3と多い。</li> <li>⑥ 地域安全協議会の存在や活動内容を9割以上の人が知らない。</li> </ul>	滋賀1  滋賀1 近畿2 由良川1 アンケート アンケート
4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 勉強会を実施して欲しいとの要望がある。</li> <li>② 現地見学会を実施して欲しいとの要望がある。</li> <li>③ 自然災害伝承碑(水害碑)の存在を知らない人が多い。</li> </ul>	近畿1 近畿4 アンケート

※会議名：滋賀(滋賀県域メディア連携協議会)、近畿(近畿地方メディア連携協議会)、由良川(由良川メディア連携協議会)  
各協議会の後ろの数字は会議の開催回

# 課題に対する滋賀県域メディア連携協議会における今後の取組(案)

○各メディア連携協議会における課題やアンケート結果を踏まえて、滋賀県域メディア連携協議会における今後の取組み(案)を整理すると以下のとおりである。

重点項目	今後の取組(案)
1) 河川カメラの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>① SNSでの災害に関する情報収集方法や発信のあり方や可能性を検討</li> <li>② メディアと共同して官の情報発信の認知度を上げるための方策検討</li> <li>③ 情報を見つけやすいサイトのあり方の検討</li> </ul>
2) 危険性のわかりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 住民が欲しい情報、メディアが欲しい情報、官が発信したい情報を整理し、住民の防災力向上につながる情報発信のあり方を検討</li> <li>② 専門家や河川管理者とメディアが共同した情報発信の訓練</li> <li>③ 共同会見でメディアが欲しい情報やタイミングをメディアから聞き取り整理</li> <li>④ 新聞社やラジオ局による情報発信、共同のあり方について検討</li> <li>⑤ メディアと共同して官の情報の信頼性が高いことを周知</li> </ul>
3) 地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域安全協議会での取組の推進</li> <li>② メディアへの避難インフルエンサー養成に関する情報の提供、メディアからの情報発信</li> <li>③ 防災士や自主防災組織と連携した避難インフルエンサーのあり方の検討</li> <li>④ 地域安全協議会の存在、取組内容をメディアと共同して周知</li> </ul>
4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>① メディアが欲しい情報の聞き取り</li> <li>② 勉強会の実施</li> <li>③ 現地見学会の実施</li> <li>④ 災害対策用機械を用いた水防活動訓練でのメディアとの共同訓練</li> <li>⑤ メディアによる自然災害伝承碑の周知</li> </ul>

○今後の取組(案)に対して、意見照会を行い、来年度以降の具体的な取り組みを進めていく。

## メディア各社への意見照会

・来年度以降の協議会を進めていくため、各メディアに以下の内容について、意見照会を実施したい。

- ① 今後の取組(案)に対して、滋賀県域メディア連携協議会で優先して取り組みたい内容を知りたい。
- ② また、その他に取り組みたい内容や要望はあるか。あれば具体的な内容を知りたい。
- ③ 危険性のわかりやすい情報提供について、減災、防災に係る情報を発信していくうえで、どのような情報を欲しいか。また、その情報を入手したいタイミングはいつか。
- ④ 現在、各社で行っている減災、防災に係る取組みの内容を知りたい。



- ・ 意見照会の結果を出水期までにとりまとめる。(意見照会を4月末ごろまでに実施予定)
- ・ 頂いたご意見やこれまでのメディア連携協議会での意見、住民へのアンケート結果などから、滋賀県域メディア連携協議会における今後の取組とロードマップについて、意見交換などを行い、取組を進めていく。